

項目/年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
新館スケジュール ※2	基本構想	基本計画・PFI調査	基本設計	実施計画	工事	工事	工事	工事	工事		
上記と資料整理の関係性		展示設計に必要な資料情報の提供						移転に必要な資料情報の提供			
資料整理事業	【第0期資料整備事業】	【第1期資料整備事業】			【第2期資料整備事業】			【第3期資料整備事業】			
目標指到達点	●館蔵資料点数の把握 ●整理作業にかかる課題点の把握 ●全体・部門別整理作業計画の策定	●未登録・未整理資料の情報収集・情報整理が完了		●部門別資料の基礎的情報収集・整理統合の完了			●データベースの公開とデジタル・アーカイブ化にむけたデータの準備完了				
年次		1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次		
委託業務	「山形県立博物館資料整理・調査・台帳・整備業務」の実施	「令和8年度 山形県立博物館 館蔵資料第1期1年次整備業務委託」の実施 「令和9年度 山形県立博物館 館蔵資料第1期2年次整備業務委託」の実施（仮） 「令和10年度 山形県立博物館 館蔵資料第1期3年次整備業務委託」の実施（仮） 【本委託業務】									
全体概要	○館蔵資料の現況調査 ○資料整理にかかる作業手順の検討 ○資料整理・調査・台帳整備計画の策定	○未整理・未登録資料の整理作業の実施 ⇒1年に2分野毎、計3か年で実施予定（作業進捗により年度毎に計画見直し）	同左	同左	○登録済み資料リスト及び（必要に応じて）整理対象リストと現物資料の照合・確認・修正作業の実施 ○非登録資料の整理 ○「横断検索」が可能となるデータベースの項目整理 ⇒1年に2分野毎、計3か年で実施予定（作業進捗により年度毎に計画見直し）			○全部門のデータ統合 ○データベースの公開、デジタル・アーカイブ化に向けた調整（横断検索への対応等含む） ○資料情報の精査・追加			新館開館（想定）
全体作業手順		①未整理資料の現状確認と作業環境の構築 ②未整理・未登録資料の情報収集作業 ③未整理・未登録資料の情報整理作業 ④次年度以降の作業計画の策定	同左	同左		詳細な内容は未定		詳細な内容は未定			
対象部門（自然系）		【植物】：約43,000点 【地学（仮）】：約6,400点 【動物（仮）】：約52,000点		【植物（仮）】：X点 【地学（仮）】：X点 【動物（仮）】：X点							
部門別作業内容	○調査に基づく部門別資料数の把握 ○各部門学芸員へのヒアリング ○部門別台帳等の内容確認作業 ○次年度以降の整備計画の策定 ○一部資料の移動										
対象部門（人文系）		【民俗】：約2,400点 【考古（仮）】：約370,000点 ※3 【歴史（仮）】：約7,000 OR7までに収集した資料の整理作業 ○資料の所在、状態の確認 ○一カルナンバーによる整理と写真撮影 ○資料群の内容、詳細な点数確認		【民俗（仮）】：X点 【考古（仮）】：X点 【歴史（仮）】：X点							
部門別作業内容	同上										
対象資料総数	（暫定）約481,000点 ※3	約45,400点	約376,400点	約59,000点							

※1 本資料は令和8年2月16日時点のものであり、本計画案については作業進捗等により随時見直しを行うものである。

※2 新館に係るスケジュールについては、令和7年12月23日に開催された「第5回山形県新博物館基本構想検討委員会」における「山形県新博物館基本構想（令和7年12月23日現在の案）」に基づくものである。

新館に係るスケジュールは、PFI手法により実施する場合、開館が1年半から2年程度遅くなる見込み。また、社会情勢や県内動向により、変更となる場合がある。

※3 資料数等については概算であり正確な数値を表したものではない。特に考古部門の資料点数は未整理・整理済み資料が混在した資料数を破片単位で概算したものである。整理箱数で示した場合、1120箱となる。考古部門の場合、未整理・整理済み資料が整理箱内に混在しており、未整理資料数のみを正確に示すことは困難である状況のため、他部門よりも非常に大きい数量が示されている。今後予定される資料整理業務については全点数を扱うことを前提としている。博物館担当者と協議の上、対象資料を選択したうえで整理・登録を目指すため、実際に対象となる未整理資料数は大きく減じる予定である。